

公共施設をもっと地域のために使いやすく！

－宮前区地域デザイン会議－

令和4（2022）年12月10日（土）14:00～16:30

区内の事例紹介：区役所市民広場の活用

みやまえ子育てフェスタ企画委員会 深川 深雪さん（スージーさん）

00:00:05

みやまえ子育てフェスタ企画委員会 深川 深雪さん（スージーさん）

- ありがとうございます。今日は立たせて紹介させていただきたいと思います。
- みやまえ子育てフェスタ企画委員のメンバーのスージーと申します。スージーなんて外国人なんじゃないかと思いますが純粋な日本人です。ちゃんとした名前もあるんですけども、通り名がスージーで通っていますので今日はスージーのままやらせていただきます。

00:00:36

- ここ [画面] に写っているのが今年の子フェスタメンバーの写真です。これは子フェスタが終わった後に記念写真を撮りました。市民広場を使わせていただくということで、子フェスタのことからお話しさせていただきます。

00:00:52

- 子フェスタは、川崎市の課題別連携事業という形をとっています。市民館とお母さんたちが一緒に企画して行く企画で、年間を通して活動しています。
- 10月の子フェスタの他に、7月には子フェスタ広場、それから10月近くにプレイベントなんかも行っています。

00:01:14

- どんなフェスタかというと、この地域に住んでいる乳幼児を持つご家族を応援するお祭りです。
- それはどんなことかというと、地域情報の展示、それから子育て支援団体の紹介、またその支援団体によるコーナー企画。これがなかなか面白いんですけど、地域のお母さんたちが主導で行っている。
- ここ大切です。お母さんたちが主導で作っている川崎市で唯一の子育てフェスタで、とても自由度の高い子育てフェスタです。

00:01:50

- さあ、ちょっと見ていってみましょう。これは今年のエンディングコンサートです。
- 大ホールを使わせていただいて、毎年コンサートをさせていただいています。演奏しているのは「おとのわぐま」という私も入っているバンドですね。子どもたちも一緒に活動しておりますので、子

どもたちも舞台に乗っています。

- それから 5 年ぐらい前からなんですけれども、地域のダウン症の子どもたちを持つお母さんの会で Shine☆ (シャイン) さんなんていうところがあるんですけれども、そことも一緒に活動しておりますので、ダウン症のお子さんたちも舞台上で一緒に活動しています。
- ここには映っていないんですけども、とても楽しそうに活動しています。これがエンディングコンサートです。

00:02:39

- こちらが、先ほど面白いんですよとご紹介させていただいたコーナーの企画です。
- これはお絵描きの部屋で、ゆびえのぐというものを使って、好きなように描きます。
- 足まで使っている人もいますけども、ゆびえのぐはのりも入っているので、感触がよくて子どもたちも楽しめています。すごいもう汚くなりますけどね。

00:03:13

- これは工作の部屋でした。工作でいろんな何でもいいよっていう工作である子はカニを作った作品なんかも持っていますけど、別に作品にならなくたっていいんだよって、今年はトイレットペーパーをたくさん使いました。
- でも無駄にしたわけじゃないんですけど、その後紙粘土とかにもしたんですけども、トイレットペーパーをバートとかこう投げて、トイレットペーパーを自由に使っています。
- 普通だったら怒られることをここではいいよっていう形でやってみました。あそこ [画面の背景] に書いてある素敵な看板もありますよね。あれもメンバーの子が書いています。「心書」といって心の文字というみたいなんですけど、素敵なものを作ってくれました。

00:04:00

- ということで、子フェスタも市民広場を使わせていただいています。
- 子フェスタが市民広場を使うのは、最初のまずオープニングコンサートから使わせていただいています。

00:04:17

- 今年はコロナ禍だったので、体操だけになったんですけども、これは宮前区 40 周年を記念して作られました「大好きメロコス体操」。みなさんご存知ですか？
- これをオープニングコンサートでしました。みんな参加団体さんも一緒に活動してくれますので、すごく賑やかなオープニングコンサートでした。
- ここにイツコムさんも来て、一生懸命撮影してくださいました。

00:04:42

- いつもコロナ禍の前はこうやって、お母さんたちが、自分が小学生の時に使っていたリコーダーを久しぶりに持って、オープニングコンサートにファンファーレがわりに吹いていました。

- こんな感じでね、またできるといいんですけど。

00:05:03

- そしてオープニングコンサートの後は[市民広場を]何に使っているかっていうと、社協さんが毎年来てくださっている移動動物園。
- この移動動物園もコロナ禍だったのでできなかったのですが、今年は保育園さんがいろいろ考えてくださりまして、超大型遊具を持ってきてくださって市民広場でたくさん遊べる所を作ってくださいました。
- 奥のほうではミニコンサートを1日中やってくさったので、とっても盛りだくさんの市民広場になりました。

00:05:38

- そしてこれは子フェスタの日ではないんですけども、さっきもご案内した、子フェスタ広場があって7月にやっているギャラリーでやっている企画なんですけども、やっぱりギャラリーだけだとつまらないねということで、広場のほうも使わせていただいています。

00:05:56:

- この時はコロナの前だったので、みんなマスクをしていないんですけども、パブリカを踊っているところです。とても楽しくできます。

00:06:03

- 今年の子フェスタ広場、7月の記念の1枚です。これは今年委員長だったアヤカちゃんのご家族です。

00:06:18

- 今、子フェスタのイベントで市民広場をどうやって使っているかをご説明してきたんですけども、実は子フェスタの活動というのは一番最初に申し上げたように1年間活動しています。
- 10月の大きなイベントに向かって活動しているのももちろんなんですけども、なんで1年間もそんなににかかるのかといたら1年間家で孤立しているお母さんたちを少しでも呼び込もうっていうことがありまして、おしゃべりの会のおしゃべりをする会議と言っても、本当におしゃべり会にしたいなっていう形で、1年間かけて会議をしています。
- その中で10月の子フェスタ以外で使っている市民広場の使い方として、会議が終わった後にお弁当を持って市民広場に行ってみんなで食べようかなっていうのがよくあります。
- で、その時に市民広場は使わせていただいているんですけど、ここ[画面]に「楽しい虫いっぱい」とありますが、これは子どもの気持ちです。植え込みのところに、そんなに植え込みってたくさんはないんですけども、案外虫がたくさんいます。蜂は嫌なんですけど、バッタであったり、蟻だったり、子どもたちがとても楽しく遊んでいます。

00:07:43

- あとこの市民広場を使う利点として、お母さんたちが一緒にご飯とか食べているんですけども、見渡せるんですね。あんまり危ないものがないので、安心して子どもたちを遊ばせられるっていうのが利点としてあると思います。
- お母さんたちもおしゃべりもできながらも、子どもたちのことにも目を配らせることができるということが大切かなと思っています。
- すごくね、年間通してお弁当で賑わっています。だからどっちかという、イベントで使うよりもそういう方が多いかもしれません。
- ちなみに先ほど山田さんがご紹介くださったんですけども、子フェスタのイベント当日は確かに許可を得て市民広場を使わせていただいているんですけども、お弁当を食べる時間は別に許可は得ないので、そんな感じで年間を通して使わせていただいています。

00:08:38

- もう1個あります。
- 区役所にはいろいろ人がやってきます。それはそうですね。小さい子どもからお年寄りも来ます。
- 私はサポートする側なので、ちょっと年を行っているんですけども、子育てをしている人たちは、自分たちの同じ年の人とかしかあまり触れ合うことができないんですけども、区役所が隣にあるということで、色んな方と触れ合うことができるっていうのがまた利点だと思います。
- 子どもたちもおじいちゃん・おばあちゃんを見て一緒に触れ合うこともできるし、おじいちゃん・おばあちゃんもそこで小さいお子さんと触れ合いができるっていうこともあるし、相互でそういう経験ができるかなというところも利点じゃないかなと思っています。

00:09:41

- そんな感じで子フェスタは[市民広場を]使わせていただいています。
- プラスしてこれはコロナ禍前のところなんですけども、こんな賑やかに使わせていただいています。子フェスタとしての市民広場の使い方はこんな感じなんですけども、プラスしてもう1点、今年は言いたいなと思うことがあります。
- さっきも出てきた「大好きメロコス体操」。地ケアさんが今年は随分とそこの市民広場でやってくださって、だんだん高齢化してね。最初は人数が少なかったんですけど、すごくたくさんの方が来てくださるようになって。
- そこでみんなが笑顔で、私はそれで司会をやらせていただいたので、毎回体験することができたんですけども、みんなが笑顔でそこで体操しているというのがすごく感動して。みんなの笑顔が私の方を向くんですね。1日疲れていても、ここで司会を1回すると、みんなの笑顔を見られたなと思って、元気になって帰ることができました。
- ぜひこの話もしたいなと思って今日は来たので、ここでもお話しさせていただきました。
- 以上が私の報告です。ありがとうございました。